

まち未来だより

2023 April 発行

宜野湾市基地政策部まち未来課

「まち未来だより」では、普天間飛行場の跡地利用に関する取組みについてお伝えします。

パネル展キャラバンを開催しました！

普天間飛行場の跡地利用に関する情報や取組みなどをパネル化し4つの会場で巡回展示しました。パネルでは跡地利用の検討内容や合意形成の取組み、子ども達が考えた「未来のまち」のイラスト、跡地利用に関するアンケート結果等を紹介しました。



沖縄国際大学
令和5年
1/16～1/23



宜野湾市民図書館
令和5年
2/1～2/8



宜野湾市立博物館
令和5年
2/10～2/19



宜野湾市役所
令和5年
2/24～3/3

アンケート

来場者を対象にパネル展示内容についてアンケートを行いました。

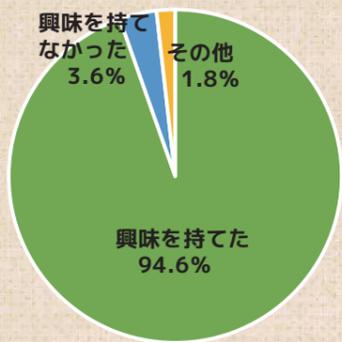
Q. パネル展を通して普天間飛行場返還後のまちづくりへ興味を持った理由

- 普天間飛行場の街の様子がイメージすることができた
- 返還後どのような街になるか楽しみ
- 今後成長し活動するかもしれない小学生たちの案も取り入れてみると面白い
- 返還後の「みどりの中のまち」など、画期的だと思えることを知ることができた
- 基地の跡地利用について初めて知ることができ、もっと調べてみたいと思った
- 子ども達も色々なことを考えていることに驚いた

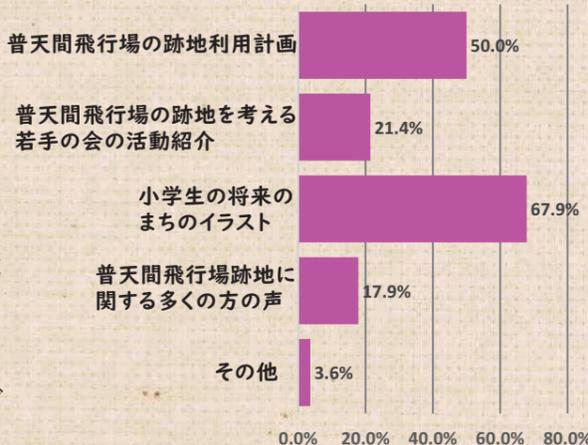
Q. 自由意見

- 普天間飛行場の跡地は商業施設に利用したほうが、街の人口が増えて経済効果が期待できると思う。
- 住みやすい住宅街ができたら良い。
- 交通公共機関、特に電車の発展を推進したい。
- 基地跡地予定の場所には、沖縄の歴史的に重要な遺産が多く残っているので、歴史的な場所を積極的に残してほしい。その上で、スマートシティの計画案を考えてほしいです。
- 返還後にこんな（パネルで紹介している）良い街ができたらよい。

Q. 今回のパネル展を通して普天間飛行場のまちづくりへの興味について教えてください。



Q. 今回紹介した取組みの中で良かったと思う内容を教えてください。



先進地視察会 で学んだこと！

普天間飛行場跡地のまちづくりの参考とするため、情報の収集・蓄積を図ることを目的として県外先進事例の視察を行いました。

視察先：柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）（千葉県柏市）

柏の葉地区では、UDCKが中心となり都市デザインとマネジメントの方法、仕組みの構築を進め、研究・教育とまちづくりをつなぐ社会連携・地域連携を推進している。



歩道には歩きたくなる工夫が凝らされている。

駅まち空間と周辺市街地を一体的に移動可能とし、滞在しやすい空間をつくりあげるための取組や留意している点は？
→ **基本的には歩行者が歩きやすい軸線を築き上げながら、少しずつでも改善していくことを徐々に取り組んで行くことが大切である。歩きやすく楽しくすることももちろんであるが、その沿道は非常に大切になってくるため、通り沿いの開発を行うにあたっては、店舗を入れてほしい、できるだけ外に開いた空間にしてほしいなど、厳しめのガイドラインを策定しながら、ガチャガチャしていない明るい町にしていきたいと考えている。**

視察先：一般社団法人二子玉川エリアマネジメント（東京都世田谷区）

東京の西の玄関口に位置する二子玉川では、住民や企業など地域が行政と連携しつつ、主体性と一体性を持って取り組むまちづくりが行われている。



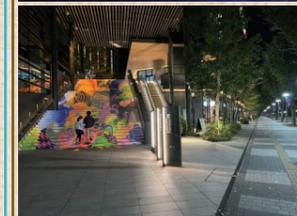
多摩川河川敷

多摩川河川敷では、**河川敷を活用したフードトラックやスペースのレンタルなど、水辺空間での新しい地域の交流拠点形成**が二子玉川エリアマネジメント主体で取り組まれている。

視察先：グリーンスプリングス（東京都立川市）

立川の新スポットとして、旧国有地跡地（旧立川飛行場）に建てられたGREENSPRINGSは、商業施設やホテル、多機能ホール、オフィス等で構成された大規模複合施設である。

- ・ 容積率は最大500%確保できるが、50%しか使用しておらず、空を大事にした開発を実施した。その結果、**開放感のある空間が生まれ、空や風、緑を感じながら過ごせるウェルビーイング**を実現させた。
- ・ 24時間楽しめるまちとして、極力24時間開放している。**照明にこだわったライトデザインで、昼と夜の印象が違うような施設をつくりあげている。**その結果、早朝は散歩やエクササイズ、昼はランチやカフェ、夜はゆっくりと語り、お酒を楽しむなど、様々な年齢やシーンに利用される空間となっている。



県外先進事例の視察を通して、地域や企業、大学、行政と連携し、地域の資源を活かしたまちづくりを進めていくため新たなまちづくりの手法等の情報の収集ができました。

【「まち未来だより」発行元】

宜野湾市役所 基地政策部 まち未来課
〒901-2710 沖縄県宜野湾市野嵩一丁目1番1号
電話 098-893-4401（直通） FAX 098-892-7022

普天間飛行場跡地利用に係る情報は、宜野湾市ホームページや情報提供窓口（宜野湾市基地政策部まち未来課）でも提供しております。情報収集や跡地利用に係る要望・ご意見を述べる場としてお気軽にご活用ください。

まちづくり講座を開催しました！

まちづくり講座とは？

普天間飛行場返還後のまちづくりにおいては、地権者だけではなく、市民の皆さまの参加がとても重要になります。そのため、本市では、まちづくりについて学べる機会のひとつとして「まちづくり講座」を開催（2回）いたしました。

普天間飛行場周辺の公園や公共空間を活用した「今からできること」

第1回 令和5年1月21日（土） 主な内容：まちあるき、ワークショップ

普天間飛行場は全面返還が合意されており、跡地では活用できる自然・歴史を公園として確保する「みどりの中のまちづくり」の実現に向けて検討を進めています。第1回は、伊佐地区周辺のまちを歩き、公園や公共空間を活用した「今からできること」について話し合いを行いました。

【まちあるきの様子】

【ワークショップの様子】



【公共空間の活用アイデア】

●ふんしんせせらぎ通りの活用意見

- ①四季折々のイベント
- ②夕涼み会
- ③マルシェの開催
- ④魚のつかみ取り
- ⑤郷土賞受賞をアピールした観光客の呼び込み 等

●伊佐児童公園の活用意見

- ①グランドゴルフ大会
- ②子ども達の小さな運動会
- ③青空会議
- ④フリーマーケット
- ⑤児童キャンプ体験 等

第2回 令和5年2月17日（金） 内容：講演会、質疑応答

第2回では居心地の良いまちなかをつくる活動を行っている講師をお招きし、公共空間を活用した事例を交えながら講演いただき、参加者からの質問等に対して回答頂きました。

【講演テーマ】

公共空間を活用した場づくり先進事例

講師紹介：山口大学 大学院創成科学研究科工学系学域 感性デザイン分野 建築学専攻 准教授

2016年頃より山口県宇部市の中心市街地において公共空間を利活用した地域活性化に携わり、現在「若者クリエイティブコンテナ（宇部）」代表等を務める。



宋 俊煥氏
(そん・じゅんぷあん)

まとめ

- 空間デザインと政策・制度と並行して短い期間でできる機動的なまちづくりの必要性、マネジメント手法が必要になっている。
- 行政がデザインして民間が利用・活用するというのでは中々利用されない。行政と民間、専門家が一緒にデザイン・マネジメントをしていくことでガバナンスができていく。



【講演会の様子】

公園の事例をとおして管理のあり方を説明している様子

まちづくり講座第1回2回の内容等については、YouTubeにてまとめて配信しておりますのでご覧ください。



令和5年5月末までの公開を予定しております。

まちづくり講座2回を通して、伊佐区の公共空地の場所や活用のアイデアを把握でき、実際に取組みに展開することで賑わいの創出に繋がることを学びました。

まちづくりワークショップを開催しました！

ワークショップの概要

普天間飛行場跡地利用について、これまでの取り組み内容を紹介し、児童・生徒に返還後のまちづくりについて考えてもらう機会を促すことを目的して4つの会場で開催いたしました。

実施日・開催場所

日にち	開催場所
R4/8/1	新城児童センター
R4/8/13	大山児童センター
R4/9/28	大山公民館
R4/10/18	大山小学校

実施の主なポイント

- ①まち（働きたいまち、すごしやすいまち、楽しいまち）に「必要となる機能」についてグループで話し合う。
- ②普天間飛行場跡地の「みらいのまち」をイメージしてもらうことで、普天間飛行場跡地利用計画について周知を図りつつ、まちづくりに興味をもってもらう。

ワークショップの様子



子ども達がイメージした将来のまち（一部）



【結果（感想）一部】

- ・普天間飛行場ができた経緯や、まちの中に歴史的な場所について知ることができて良かった。
- ・今まで漠然と理解していた普天間飛行場跡地利用計画だが、ビデオを見て具体的な計画、基地の歴史などを知ることができた。グループでまちをつくって楽しかった。
- ・みらいの宜野湾市のまちをつくったことで、もっと宜野湾市について調べたり、まちづくりを知りたいと思った。楽しかった。
- ・自分が考えたまちを作れてよかった。まちをつくったことは初めてで、とっても楽しかった。普天間飛行場が返還されたら自分が考えたまちのようになってほしい。
- ・他の人の考えや自分に思いつかない発想に触れられて、面白かった。貴重な経験となった。
- ・最初は難しそうだなと思っていたけど、やってみたら難しくなかった。